

東条学園8年生 4・7年生・保護者に「トライやる・ウィーク活動発表会」

12月2日に東条学園小中学校で8年生の保護者を招いて、親子活動としてトライやる・ウィーク活動発表会が行われました。トライやる・ウィークに参加した8年生は、30の事業所に分かれて、約1週間実社会で職業体験を行いました。今回は8年生が7年生と4年生を対象に、トライやる・ウィークで学んだことを事業所や仕事内容をクイズも交えながら発表しました。8年生からは「いつもと違う立場で仕事をして、責任感や人の関わりの大切さを学べた。」「やってみてかかった仕事ができ、夢に近づくことができた。将来に活かしていきたい。」といった感想が述べられました。発表を聞いた7年生や4年生からは、「私もこども園に行きたいと思っていたから、こども園の発表を聞くことができて良かった。もっと行きたくなりました。」「色々な仕事があることが分かりました。知らないこともたくさん知れて、良かったです。」といった感想が聞かれました。

異学年で交流をしながら、「仕事」について考える小中一貫校らしい取組となりました。



【8年生に感想を伝える4年生】

社高校生とつくる地域の未来

みんなで やろうぜ！ 部活動体験



【野球部での体験】

12月6日、社高校で小学4～6年生を対象に「社高校生とつくる地域の未来 みんなでやろうぜ！部活動体験（加東ライオンズクラブ主催 社高校・加東市連合PTA等後援）」が、「中学校に入ったら何をしたい？」、社高校のお兄さん・お姉さんとの部活動体験で、あなたの「やってみたい」を見つけよう！という目的で開催されました。参加した小学生からは「これからの参考になった。」「高校生が優しく教えてくれて嬉しかった。」「中学校になって、やりたいことが見つかった。」などの感想がありました。小学校、高校、地域がつながる実りある行事となりました。加東市が進める小中一貫教育の核の一つが地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」です。今後も地域、家庭、学校が一体となった教育づくりをしていきましょう。



【家庭部でのクレープづくり体験】



【書道部での体験】



【バスケットボール部での体験】